

女満別空港に係るモニタリング結果（令和元年度）

1 趣旨

道は、北海道エアポート株式会社（HAP）と締結した実施契約に基づき、女満別空港の空港運営事業及びビル施設等事業に関し、令和元年度の実施状況（※）についてモニタリングを行った。

（※）令和元年度は滑走路等の運営移行前であるため、滑走路等の運営に係る業務は対象外

2 モニタリングの視点

公共サービスの水準の確保や事業の継続性を担保する観点から、次の2つの視点でモニタリングを行った。

- （1）HAP及び女満別空港ビル株式会社（ビル施設等事業者）が女満別空港の空港運営事業及びビル施設等事業を適切に実施しているか。
- （2）HAP及びビル施設等事業者が安定的及び継続的に公共サービスの提供が可能な財務状況にあるか。

3 モニタリング対象期間

令和2年（2020年）1月15日～令和2年（2020年）3月31日

4 モニタリング結果

（1）空港運営事業及びビル施設等事業の実施状況

業務報告書により、HAP及びビル施設等事業者が女満別空港の空港運営事業及びビル施設等事業を適切に実施しているか確認した。

モニタリングの結果、適切に実施していると認められた。

（2）財務状況

会計監査人の監査済み財務書類等により、HAP及びビル施設等事業者の財務状況を確認した。

モニタリングの結果、財務の状況に問題はなく、安定的及び継続的に公共サービスの提供が可能な財務状況にあると認められた。